

ツキノワグマの出没状況と対策

～市民の安全安心に向けて～

4月以降クマの目撃情報が増えている。目撃件数は5月31日現在34件と昨年同日比約1.9倍となっており、クマに遭遇する危険性が高くなっている。

1 クマの目撃件数等について

昨年度はドングリ等の堅果類の凶作により人里でのクマの目撃件数が多かったが、今年度も昨年度を上回るペースで目撃情報が報告されている。

また、例年6月以降は、①クマの繁殖期にあたること、②若いクマが親離れして行動範囲を広げることなどから、クマの出没が増える傾向にあるため、人身事故及び農作物被害への十分な注意と警戒が必要である。

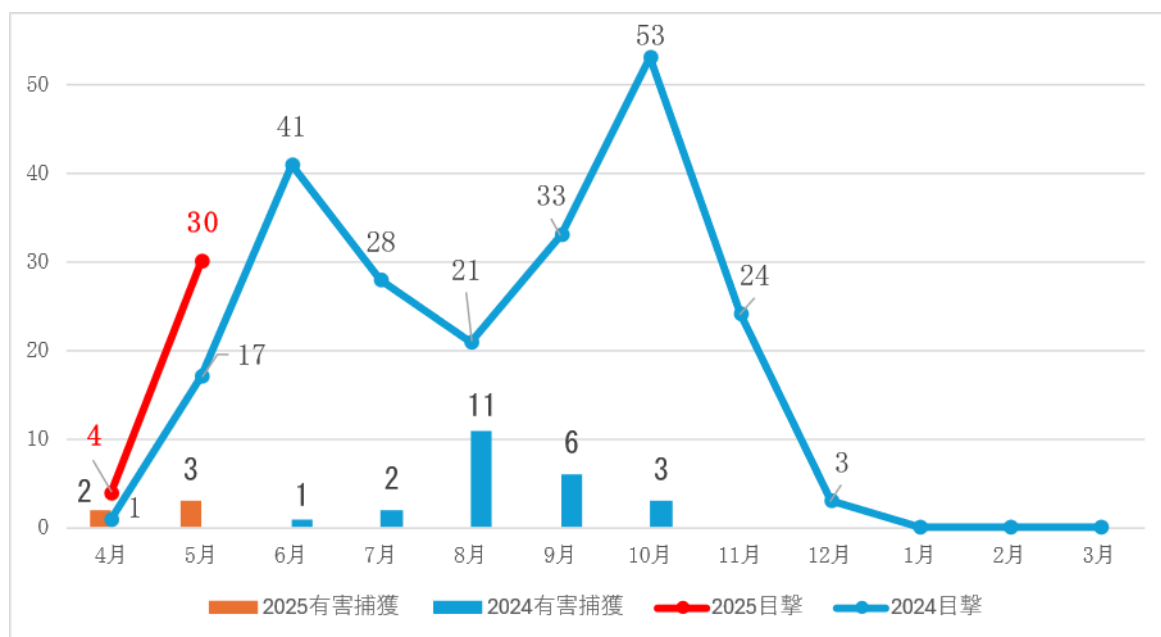
【クマの目撃・有害捕獲件数】

(単位：件)

区 分	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
目撃件数	126	203	120	319	34
うち 4～5 月	25	12	20	18	
有害捕獲件数	6	12	5	23	5
うち 4～5 月	2	1	1	0	

※目撃件数には痕跡情報を含む。

【クマの目撃・有害捕獲件数（月別）】



2 市の対策について

(1) 鳥獣害対策員及び集落支援員による対応

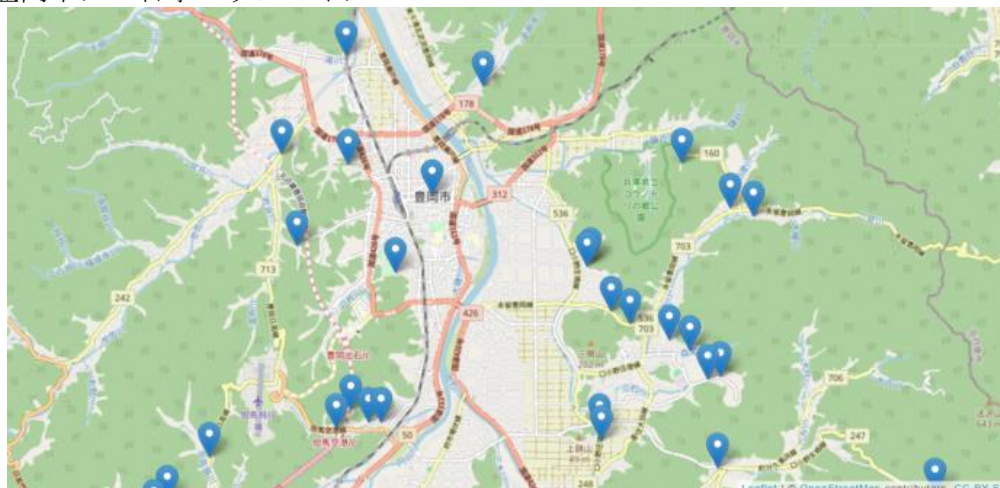
猟銃免許を所持し、野生鳥獣対策の専門知識を持った鳥獣害対策員 2 名、集落支援員 1 名を農林水産課に配置している。

市民から寄せられた出没情報等に基づき、随時現場での対応等を行っている。

(2) 豊岡市クマ目撃マップの運用

クマの出没状況を広く市民に周知し注意喚起を図るため、2024 年 8 月から、市ホームページ上で「豊岡市クマ目撃マップ」を公開している。

<豊岡市クマ目撃マップのイメージ>



(3) 防災行政無線を活用した市民への周知

ア エリア限定放送

振興局又は地区単位でクマ目撃情報等の放送を行っている。

イ 定時放送

クマの出没が多くなる時期（5 月、10 月ごろ）に、市全域へクマへの注意喚起を行っている。

ウ 緊急放送

5 月 25 日に但東町で発生したクマによる人身事故を受けて、市長自ら市民に向けて注意を呼び掛けた。

(4) その他

ア 野生動物共生林整備事業（県事業）、獣害対策緩衝帯森林整備事業（市独自事業）により、バッファゾーン整備（野生動物との住み分け）への支援を行っている。

イ 集落内及び集落周辺ゾーンでの年間を通した箱罠設置（市内 509 基）による捕獲を行っている。

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
設置数	86	41	39	139	47	157	509

ウ 人身被害等の恐れがある場合、地元からの要望に基づき、県の許可を受けて緊急的なドラム缶檻の設置による有害捕獲を行っている。

エ 希望する市内小中学校の児童・生徒へクマ鈴を配布している。

〔問合せ〕 豊岡市コウノトリ共生部農林水産課 TEL0796-23-1127(直通)